

## 送還難民・隣の州から国内難民

### PMS建設の各堰、低水位期を乗り切る

#### MII（カチャラ・コーティ・タラーン・ベラ）堰、低水位期工事、大詰め 試験送水で十分な水量を確認

ナンガラハル州は今、パキスタンからの大量の送還難民とクナール州からの国内避難民も加わり、難民を吸収する容量が限界を超えています。国内難民がPMS作業地に集中するのは、他に頼る場所がないからです。我々にできることは限られていますが、ここは緊急事態と捉え、これら難民を可及的早期に安定させるべく、カチャラとガンベリ周辺の灌漑網整備を急ぎ彼らの帰農を促進させます。緊急支援はもちろん意味があるものの、やはり中長期的な安定を視野に入れないと弊害もあると見ています。

昨秋から事情を探ってきましたが、PMSはとりあえず、現事業の強化で、雇用機会（現場作業、開拓に伴う季節農業労働、農産物の販売出荷に伴う仕事の発生、路上の小売、など）を作ること、水へのアクセスを容易にしてキャンプ生活に資すること、これだけでも無視できぬ支えになります。

難民キャンプは現在、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）が出資、州が実施しようとしています。これに呼応する形で、「受け皿の整備」を以て方針といたします。今や「緑の大地計画」は、冗談なく、東部大混乱の防波堤と見ています。

確かに現在は簡単に出入国できる治安状態ではありませんが、打つ手はあります。まずは彼らが食糧を生産出来るよう（帰農）力を尽くします。

PMSへのご協力をお願い致します。

●MII（マルワリードII）堰は河周りの工事を終え、送水試験をくりかえして十分な水量を確認しました。取水はもう大丈夫と思われませんが、やはり夏の洪水期を経過してから最終判定すべきです。しかし、これまでPMSが手掛けてきた9カ所の堰の経験が全て生かされ、完成度が高くなっています。とくに、今回の特徴は以下の点です。

1. 土砂堆積（砂州移動）対策で、コンクリート製の「部分可動堰（土砂吐き）」を初めから設計に組み入れたこと
2. 対岸中洲側の洗掘防止対策と、巨礫による湾曲斜め堰造成とが同時に、計画的に行われたこと

これら各構造物は決して目新しいものではありませんが、同時進行で計画的に施工されたのは、初めてのことでした。これまで、大量の石材輸送が追いつかなかったこと、地域関係でどうしても片側からのアプローチにならざるを得なかったこと、当方の知恵が足りなかったこと、などが挙げられます。「手動式部分可動堰」は、これまでカシコート・ミラーンで有用性が確認されていましたが、今回は水門構造に連続して造成、堰造成の際の交通路確保、工期短縮にも実を上げました。これがないと工事中の堰上り水位の調整に難儀し、水平をとることが案外難しかったのです。

平成29年3月11日

全開時の取水門下流側。河側（水門前 1m）の水頭の変化は 73 cm→70 cm と、3 cm の低下のみ。水門直後水路内の水深は約 50 cm 前後。2017 年 3 月 7 日



全開時（流入量；毎秒約 5 m<sup>3</sup>）の沈砂池の様子。排水門 II だけを全開している。送水門床面の水深は 80～85 cm で安定、2017 年 3 月 7 日



沈砂池左岸の様子。流入量は毎秒約 5 m<sup>3</sup>、水深は送水門床面から 80 cm以上、排水門床面から 155 cmで安定、十分な送排水が可能。2017年3月7日



沈砂池正面の様子。2017年3月7日



排水門 II 全開で安定時の池の様子。コンクリート構造物の鬼ザミール・グル、蛇籠の鬼ヤール・モハマッド、二人が縁の下の力持ちだ。二人とも長老格となったが、後継は確実に増え続けている。2017年3月7日



コーティ分水門を見る。2017年3月7日



コーティ分水路は全力で造成されている。全長 950mのうち、230mを完了。2017年3月11日



旧コーティ分水路。たびたび洪水が流入、土砂が堆積して湿地を形成している。分水路は粘土質の堆積土を砂利で置換、水路の基礎を作る。小さいながら主幹水路と同様、ソイルセメントでライニングが行われる。土は肥沃で、パキスタンから帰還したカチャラ村民が争って耕地を拡大している。「今夏に水稻栽培が広がる」と村民は予想している。水さえ豊富にあれば、コメはアフガン農民に魅力的な作付だ。2017年3月11日



帰農した農民が毎日現場に来る。家長たちは少しでも自分の土地を増やそうと懸命だ。カチャラー帯は軍閥の影響が殆どなく、自治会の権威が絶大。マルワリード用水路流域ほどトラブルが発生しない。新開地ではなく、所有がもともと明瞭だったこともある。2017年3月11日



護岸工事の先端。取水口からちょうど2 km地点を超えた。辛抱強いナイームが担当。2017年3月11日

